



地球環境との共生(重点項目と主要施策)

<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/materiality/environment/index.html>

マテリアリティごとの取り組み



地球環境との共生

私たちバンダイナムコグループは地球環境に配慮した事業を推進することが、社会と企業の持続可能な発展の実現に欠かせないことを認識し、様々なステークホルダーとともに、地球環境との共生を目指します。

に生まれ変わらせることができます。2025年4月には、ケミカルリサイクル樹脂を使用したプラモデルを発売しました。

そのどちらにも使用できなかったランナーは、バンダイホビーセンターの廃棄物と一緒に焼却され、その熱を使って発電する「サーマルリサイクル」に活用されます。

ランナーの回収量は年々増加し、2025年3月期は37トンに達しました。プロジェクトを開始した2021年4月から2025年3月までに回収した総量は、約117トンに上ります。

これからも、より多くの方にご参加いただけるよう、当社ではSNSや「ガンダムR作戦(リサイクル体験会)」などのイベントを通じて、プロジェクトを知っていただく機会を広げています。これからもファンの皆様とともに循環型社会の実現に貢献していきます。



エコプラ組み立て会

開封済みカードパックリサイクルプロジェクト



カードパックからカードケースへ——「トレカファン」の必需品に再生

(株)バンダイは2024年、トレーディングカードの開封済みカードパックをリサイクルするプロジェクトを開始しました。これは、全国の「ONE PIECEカードゲーム」公式ショップやイベント会場に回収BOXを設置し、プレイヤーの皆様から回収したカードパックを破碎・材料化・成形した後、その素材を使って「再生カードケース」に生まれ変わらせるという仕組みです。再生カードケースは、回収したカードパックを含む再生プラスチック材を45%使用し、(公財)日本環境協会のエコマーク認定とバンダイ独自の規格であるサステナブル製品認定を取得しています。

カードケースへの再生を選んだ理由は、カードケースがトレーディングカードゲームに欠かせないアイテムであり、プレイする皆様実際に使っていただけるためです。この取り組みを通じて、ファンの皆様のリサイクル活動に触れ、環境問題を意識いた

だく機会とすることを目指しています。2024年の「東京おもちゃショー」でも、再生カードケースを配布し、この活動をプレイヤーの皆様にご存知いただくきっかけとしました。

引き続き、同プロジェクトではカードパックの回収に取り組むとともに、再生カードケースに使うリサイクル素材に占める回収したカードパックの割合を増やしていくことを目指していきます。今後も安定した回収体制を保ちつつ、より多くの人にリサイクル活動を知っていただけるよう、取り組みを広げていきます。



再生したカードケース

資源・原材料の持続可能な利用

ガンプラリサイクルプロジェクト

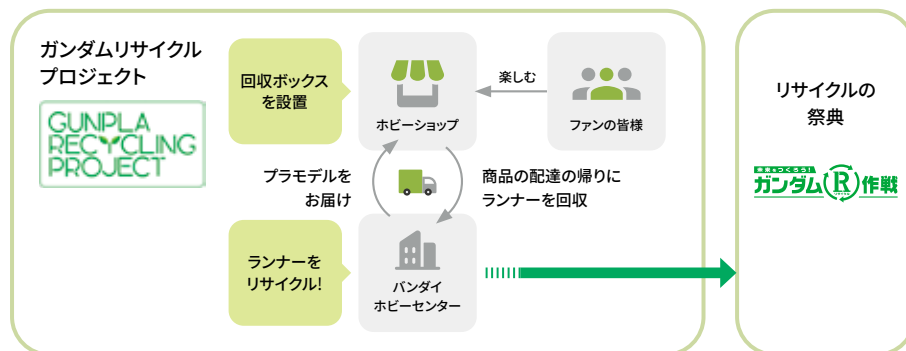


捨てられていたランナーが、新たな資源に！プラスチックごみ問題への挑戦

「ガンプラリサイクルプロジェクト」は、ファンの皆様の協力のもと「ランナー」を回収し、新たな資源へと生まれ変わらせるプロジェクトです。

「ランナー」とはプラモデルの枠の部分のことで、これまでガンプラを組み立てた後は家庭ごみとして廃棄されてきました。しかし、焼却処分されると

CO₂が排出されるという課題がありました。特に近年では気候変動対策が求められているなど、CO₂排出量削減は世界的な課題であり、当社もプラスチックを活用した商品を扱う企業として対応を検討してきました。また、お客様からも環境に配慮した商品・サービスを求める声が増えていることもあり、2021年から「ガンプラリサイクルプロジェクト」をスタートしました。



プロジェクトでは、アミューズメント施設や公式ガンプラ総合施設などの全国約200カ所に回収ボックスを設置し、お客様にランナーをお持ち込みいただき回収する方法をとっています。集まったランナーの運搬は、各施設に商品を届けたトラックが担います。各施設から工場への帰路に、商品を下ろして空になった荷台に搭載して運搬するため、新たな運搬車両を使わずに済み、CO₂排出を抑制することにつながっています。

ファンの力で回収量が増加中 皆様とともに資源循環の実現へ



いらなくなったランナーから新たな資源を創出

回収したランナーは、ガンプラの生産工場であるバンダイホビーセンター(静岡県)に集約します。ここでランナーを、「マテリアルリサイクル」「ケミカルリサイクル」「サーマルリサイクル」という3つの方法でリサイクルします。

「マテリアルリサイクル」では、ランナーを破碎・融解・固形化して粒状ペレットにし、それを熱で溶かして、「エコプラ」と呼ぶ新たなガンプラに仕上げます。

「ケミカルリサイクル」は、ランナーを化学的に分解し、ももとの形態である石油まで戻して新品のプラスチックをつくる新技術です。マテリアルリサイクルよりも自由度が高く、様々な商品



適正な商品・サービスの提供(重点項目と主要施策)
<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/materiality/products/index.html>

お客様の安心・安全を第一に考え、適正な倫理規範のもと、品質や安全性が確保された商品・サービスをパートナーと一体となって提供し、顧客満足度の向上に努めます。

マテリアリティごとの取り組み



適正な商品・サービスの提供

商品サービスの安心・安全

おもちゃの品質保証



約260の厳しい検査項目で“おもちゃの安全・安心”を徹底

「安全・安心」は、おもちゃにとって欠かせない要素です。特に、小さなお子様は大人が思いつかないような遊び方をするため、あらゆる状況を想定した検査が必要です。(株)バンダイと(株)BANDAI SPIRITSは、高い品質と安全性こそが、玩具メーカーが追求し、必ず果たさなければいけない責任の1つだと考えています。

両社は、その考え方に基づき、すべてのおもちゃに対して出荷前に徹底した品質検査を行っています。バンダイは、(一社)日本玩具協会の定める玩具安全基準(=ST基準)に加え、「安全性」「性能」「表示」の大きく3つのカテゴリーに分かれた約260項目の独自基準から成る品質基準を使用しており、商品の仕様に応じて、これらの基準から該当する項目を抽出、検査を行ったうえで製品化しています。

両社の検査は、次の3段階で実施しています。

「新製品検査」は、試作品がバンダイの定める品質基準に沿って製造されているかを確認する検査です。この検査に合格しないと量産を開始することができません。

「出荷前検査」は、新製品検査で合格した試作品と量産品の仕様が合致しているかを、量産を委託している工場側で確認する検査です。

「商品受入検査」は、工場側の出荷前検査後に、新製品検査で合格した試作品と量産品の仕様が合致しているかをバンダイ側で確認する検査です。

検査の例としては「シャープポイントテスト」(触れることができる部分の先端により、けがをするおそれがないかを確認する試験)や「製品落下試験」(落下の衝撃でけがにつながる危険な部分が発生しないかを確認する試験)などがあります。

また、日本国内向け製品を生産するすべての海外最終梱包工場において、品質監査とCoC監査を一元化した「BANDAI Factory Audit (BFA)」や第三者CoC規格に基づく監査を定期的実施しています。

さらに、グローバルに展開している商品も多いため、世界の各地域で求められる玩具規格に加え、約200項目の独自の品質基準を定め、海外のお客様にも安全で安心できる商品をお届けできる体制も整えています。地域ごとの規格への対応については、今後もさらなる改善を続けていきます。

注：(株)バンダイ、(株)BANDAI SPIRITSにおける監査の詳細はP.111をご覧ください



シャープポイントテスト



製品落下試験



中国・深センでの出荷前検査の様子

アミューズメント施設の安全・安心



“リアルな体験価値”を提供するため施設の安全性を追求

(株)バンダイナムコエクスペリエンスは、人と人がリアルに集う“リアルエンターテインメント”をお客様に提供しています。リアルエンターテインメントとは、ゲームセンターやテーマパーク、アスレチック・スポーツエンタメ施設など、多様なカタチの遊びの場を指します。こうした施設において欠かせないのが、「安全・安心」です。

安全・安心のための取り組みは、遊具の企画段階から始まります。製作前には、企画書をもとに危険や不安が予測される事項について評価し、(一社)日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規準」など、複数の基準に照らして徹底的にチェックします。

また、製作段階でも新たな危険・不安事項が生じていないかを確認するとともに、施工・設置時にも専門部署が現地を訪問し、関連法規や当社独自の点検ガイドに基づいて点検を実施するなど厳重にチェックしています。さらに、遊具が使われ始めて

からも定期点検を欠かしません。加えて、建築基準法や消防法、労働安全衛生法などの法令や各種規格を遵守し、日々徹底した安全確認を実施しています。

次世代型屋内アスレチック施設「トンデミ (TONDEMI)」では、日々の安全確認として、トランポリンを従業員が実際に飛び、足がはまる場所がないか、着地地点の周辺に鋭利な箇所やスプリングに触れる箇所がないかなどを確認しています。また、クライミングでも従業員が実際に登り、すべてのホールドで鋭利な箇所がないか安全ベルトが正しく機能するかを検証しています。さらに、他の遊具においても点検項目に沿って厳重な安全管理を実施しています。

これからもバンダイナムコエクスペリエンスは、厳しい安全基準のもとで定期点検を継続し、安全性の確保に取り組み続けるとともに、安全性確保のための仕組みも見直しと改善を重ね、お客様が安心して楽しめる“リアルな体験価値”を提供していきます。



次世代型屋内アスレチック施設「トンデミ (TONDEMI)」クライミング、ロープウォーク



知的財産の適切な活用と保護(重点項目と主要施策)
<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/materiality/ip/index.html>

マテリアリティごとの取り組み



知的財産の適切な活用と保護

重要な経営資源であるIP(キャラクターなどの知的財産)を適切に活用・保護することにより、エンターテインメントの持続的な発展に寄与します。

IPの保護

「太鼓の達人」シリーズの知的財産権保護



知的財産を守り、ブランド価値を維持するため、正規品と模倣品の違いを明示

2001年の発売以来、多くのファンの皆様に長年愛されている「太鼓の達人」シリーズ。2023年には、中国内地でも正式に発売され、アミューズメント施設を中心に、多くの消費者の皆様にお楽しみいただいています。しかし、残念ながら模倣品が違法に製造・販売され、ECサイトやSNSで取引されている事例も確認されています。

模倣品は、バンダイナムコグループの知的財産権を侵害しています。知的財産権を保護することは、企業のブランド価値を守り、消費者の皆様への信頼を維持するうえでも重要です。そのため当社は、侵害対策声明文(厳正声明)を公開し、正規品との違いを明確に示しました。例えば、太鼓の模様の向きや色、画面上部のカメラの有無、バーコードリーダーの形状、台座のデザインなどが主な違いです。さらに、模倣品の販売停止に向けた法的手段を講じるとともに、消費者の皆様へ、侵害品ではなく、正規品をお選びいただくよう呼びかけています。

バンダイナムコグループは、今後も知的財産権を侵害する行為を徹底的に取り締まり、正規品の普及と促進に努めます。知的財産権の保護は中国内地に限らず、世界中で重要な課題です。「太鼓の達人」ゲーム機のグローバル展開の強化と並行して、侵害品への継続的な対策に加え、消費者への知的財産権に関する啓発活動にも注力していきます。



「太鼓の達人」正規品



尊重しあえる社会の実現(重点項目と主要施策)
<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/materiality/workplace/index.html>

マテリアリティごとの取り組み



尊重しあえる社会の実現

バンダイナムコグループに関わるすべての人が、お互いを尊重しあえるよう、人権尊重に向けた取り組みを推進するとともに、誰もがいきいきと働ける職場環境を実現し、社会と企業の持続的な発展を目指します。

サプライチェーンマネジメント(労働)

取引先とともに持続的な発展を目指す



グループ会社と取引先が一体となり、尊重しあえる社会づくりを

ダイバーシティ、人権問題など、解決が容易ではない多くの課題に対しては、バンダイナムコグループと取引先の皆様との協働が不可欠です。また、このような取り組みを効果的に進めるために、サプライチェーン全体で共通認識を持ち、取引先の皆様とも公正で透明性の高い関係性を構築することが求められます。

そこで、バンダイナムコグループは、これまでの「コンプライアンス憲章」を改訂し、2025年4月、新たに「バンダイナムコグループ行動規範」を制定しました。これは、当社グループが生み出す製品・サービスのバリューチェーン全体で実践すべき行動原則を示したものです。

行動規範は全8項目で構成されており、その1つが「尊重しあえる社会の実現」です。ここでは、「バンダイナムコグループに関わるすべての人が、お互いを尊重しあえるよう、人権尊重に向けた取り組みを推進するとともに、誰もがいきいきと働ける職場環境を実現し、社会と企業の持続的な発展を目指します」としています。

この行動規範のもと、グループ各社では様々な施策に取り組んでいます。欧州地域では、Bandai Namco Holdings Europe S.A.S.のリヨンオフィスにおいて、社内イベント「DE&Iカンファレンス」を開催しました。DE&Iやジェンダー平等に対する従業員の意識を高めることを目的に、様々なワークショップやアクティビティを実施しました。

今後、説明会の実施やポスターの掲出、啓発動画の配信などを通じて、グループ内での行動規範への理解をさらに深めていきます。また、取引先の皆様とともに行動していけるよう、バンダイナムコグループ行動規範と「取引先ガイドライン」を取引先の皆様にお渡しし、理解の浸透を進めていきます。



グループ内 行動規範浸透ポスター



DE&Iカンファレンス



コミュニティとの共創(重点項目と主要施策)
<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/materiality/community/index.html>

マテリアリティごとの取り組み



コミュニティとの共創

バンダイナムコグループが地域やファンから愛され、社会から必要とされる企業であり続けるために、コミュニティとともに生き、発展していくことを目指します。

地域コミュニティとの連携

ファンとともに取り組むサステナブル活動



地域活性化や資源循環の仕組みなど、ファンの皆様とつくる“未来のかたち”

2025年に20周年を迎えた「アイドルマスター」シリーズは、“ファンの皆様とつながり、ともに創る活動”に取り組んでいます。アイドルマスターマンホールプロジェクト「ふたマス!!!!!!」では、大阪府高槻市、島根県松江市、愛知県常滑市など日本各地に、その土地と親和性の高いアイドルのデザインが施されたマンホールを設置しています。今後もそれぞれのエリアの魅力を、アイドルたちが発信していく予定です。

また、2024年9月に開催したアイドルマスターのイベントでは、再利用できる循環型ケミカルライトを販売しました。2日間で約7,780本の循環型ケミカルライトを回収し、通常タイプと合わせて

約102,220本の回収を実現しました。今後は、会場での循環型ケミカルライトの販売割合と回収割合をさらに高めていきます。



大阪府高槻市に設置したマンホール：
高槻やよい



リサイクルしやすい新形状
「循環型」ケミカルライト

IPを活用したコミュニティイベント



地域の皆様とつながるため中国でゲームイベントを開催

2024年10月、Bandai Namco Holdings China Co., Ltd. は、中国深センでゲームイベントを開催しました。会場では、バンダイナムコの特徴を活かしたゲームエリアを設け、「パックマン ゴルフ」や「太鼓の達人 お手玉遊び」、「太鼓の達人 パズルゲーム」などをご来場の皆様に体験していただきました。また、バンダイナムコグループのサステナビリティに関する取り組みも展示し、自社IPやサステナブル活動を中国の皆様にご紹介する機会となりました。

イベントの来場者数は3日間で23万人以上に上り、ゲームやフォトスポットは3,000人以上にご参加いただきました。これからも、地域と連携してイベントを開催し、バンダイナムコグループの日々のサステナブル活動を知っていただくとともに、地域コミュニティとの連携に努めていきます。



イベント当日の様子

新しい取り組み

Action

1.

キッズ向けサステナビリティサイト

動画やクイズ、漫画を取り入れ、小中学生にサステナビリティの大切さを伝える

バンダイナムコグループは、世界中のファンの皆様と一緒にサステナビリティに取り組むことが重要だと考えてい

ます。中でも、小中学生の皆様に当社グループのサステナブルな取り組みを知っていただきたいという想いから、キッズ向けサステナビリティサイト「サステナランド」を2025年4月に開設しました。

「サステナランド」では、動画やクイズ、漫画形式でサステナビリティを学ぶコーナーなど、バンダイナムコグループが取り組むサステナブル活動を分かりやすく紹介しています。また、子どもたちが、それぞれのお気に入りのIP(キャラクターなどの知的財産)を通じて、サステナビリティへの関心や理解を深められるよう工夫しています。今後もコンテンツを拡充し、より多くの小中学生の皆様にサステナビリティの大切さを伝えていきます。



サステナビリティキッズサイト

Action

2.

通販サイトのサステナビリティ

サステナビリティの取り組みを強化し、よりサステナブルな通販サイトへ

「プレミアムバンダイ」は、バンダイナムコグループの限定商品をはじめ、アニメ・コミックなどに登場するキャラクターのグッズを取り扱う通販サイトです。プレミアムバンダイでは、これまでもバンダイナムコグループのマテリアリティ

の1つ「適正な商品・サービスの提供」に向けた取り組みに力を入れてきました。さらに、そのほかの課題への対応も強化するために、プレミアムバンダイを運営する(株)BANDAI SPIRITS EC戦略部と、物流を担う(株)バンダイロジパルが、2023年に「サステナビリティプロジェクト」を共同で立ち上げました。2024年には「サステナブルアクション2024-2030」を発表し、グループ全体のマテリアリティを軸にプレミアムバンダイ独自の4つのマテリアリティへと落とし込み、具体的な取り組みへと結びつけています。

今後、物流における環境配慮や、グループ独自の「サステナブル製品認定」商品の販売促進、安心・安全にお買い物いただくための個人情報保護やセキュリティ対策の推進に一層力を入れ、プレミアムなお買い物を通じて、楽しく、やさしい未来につながるサステナブル活動に取り組んでいきます。



プレミアムバンダイトップページ